

学生の皆さんへ：生成AIの利用に関するガイドライン

1. はじめに

生成AI (Generative AI) は、ユーザーが入力したプロンプト (指示文) に従って、文章や画像、音楽などを自動生成する技術です。近年のAI技術の急速な発展により、「ChatGPT」をはじめとする高度な生成AIツールが登場し、様々な場面で利用が進んでいます。生成AIは、適切に利用することで皆さんの学修活動の効率や質を高めてくれる可能性を持っています。一方、生成AIは万能なツールではなく、いくつかのリスクや注意点もあります。

以下に、生成AIを大学の学修活動で利用する際の、基本的な姿勢と利用例・注意点を示します。

2. 利用にあたっての基本的な姿勢

主体はあなた自身です。生成AIはあくまであなたの学修を補助する「道具」です。生成AIの出力 (生成されたもの) は「参考の一つ」であり、最適解とは限りませんし、正確であるとも限りません [1]。その内容をどう判断し、どう使うかは、あなた自身が判断しなければなりません。

批判的な思考を持ちましょう。生成AIの出力には、誤り (ハルシネーション) や偏見 (バイアス) が含まれている可能性があります。出力を鵜呑みにせず、常に批判的な視点を持ち、その内容が正しいかどうかを検証・考察することが不可欠です。情報の真偽を確かめる、ファクトチェックの方法を身につけましょう。なお、ハルシネーションとファクトチェックについては「4. 生成AIの利用に際する特に重要な注意点」を参照してください。

生成AIリテラシーを身につけましょう。生成AIの仕組みや、できること・できないことを理解し、より良い回答を引き出すためのプロンプトの工夫や、ファクトチェックの方法を学ぶことが大切です。生成AIが社会の中で果たす役割や、生成AIに関連する法や制度についても理解を深めましょう。新しい情報に注意を払い、リテラシーを継続的に更新していくことも重要です [2]。

3. 生成AIの推奨される利用例

学習内容の理解促進：教科書や講義の内容について、より分かりやすい解説やイメージを出力させ、理解を深める助けとすることができます [1]。ただし、すべての出力が正

しいというわけではありません。多角的に検証をすることを心がけましょう。

アイデア生成・ブレインストーミング：レポートや発表のテーマ設定、構成案の検討など、創造的な活動の初期段階で新たな視点やアイデアを得るための壁打ち相手として利用できます [1]。

情報収集・整理：大量の情報から要点を抽出したり、異なる情報を比較・整理したりする際の補助として利用できます [1] [2] [3]。ただし、情報の正確性は必ず自身で確認しなければなりません（後述）。

文章作成・表現の改善：レポートやメールなどの文章の最初のアイデアを作成させることができます。また、自分で書いた文章をより自然な表現に修正したり、校正したりする際の参考にもできます。

語学学習：会話の練習相手になってもらう、より自然な表現への改善を手伝ってもらう、興味・関心に応じた単語リストや例文リストを作成してもらう、などの利用ができます。また、留学生が日本語学習や学習内容の理解を補助するために利用することもできるでしょう [1]。

プログラミング：プログラムコードの生成やデバッグの補助として利用できます [1] [3]。ただし、生成されたコードの正確性やセキュリティ上の問題については、必ず自身で確認しなければなりません [3]。

4. 生成 AI の利用に際する特に重要な注意点

正確性のリスク：生成 AI は、もっともらしいが事実と異なる情報（ハルシネーション）を出力することがあります。生成された情報の正確性を、信頼できる情報源（書籍、論文、官公庁の Web サイトなど）と必ず照合してください（ファクトチェック） [1] [2] [3]。あるいは、情報源を参照しながら出力を生成してくれるサービスを利用してもよいでしょう。その場合も、情報源は必ず確認してください。

公平性のリスク：生成 AI の出力には、学習データに起因する偏見（バイアス）や差別が含まれる可能性があります [1] [2] [3]。出力に人種、性別、国籍、年齢、政治的信念、宗教などに関するバイアスがないか確認してください。公平性に配慮されたサービスを選ぶことも、対策の一つです。

個人情報・機密情報・プライバシーの保護：生成 AI に個人情報、プライバシー情報、秘密情報、未公開の情報を絶対に入力しないでください [1] [2] [3]。入力した情報が AI の学習に利用され、他のユーザーに漏洩する可能性があります。特に、公表前の研究成果を生成 AI ツールにアップロードしないよう注意してください。サービスによっては、入力した情報を学習データに用いないように指示する、いわゆる「オプトアウト」も可能ですが、それでも情報漏洩がないとは限りません [3]。可能な限り、入力内容の学習をせず、セキュリティが確保されているサービスを利用してください（本学 Microsoft アカウントで利用できる [Microsoft 365 Copilot Chat](#) は、この要件を満たしています）。その場合も、その情報の機密性に応じて慎重な取り扱いが必要です。

著作権侵害のリスク：生成 AI は学習データに基づき出力を生成するため、既存の著作物（文章、画像、コードなど）によく似た内容を出力する可能性があります。既存の著作物との類似性に加え、依拠性（既存の著作物を基に創作したこと）のある出力をそのまま利用すると、意図せずとも著作権侵害に当たる可能性があります [1] [3]。特定の著作物や作家のスタイルを模倣するように AI に指示しないでください。また、出力を利用する前に、既存の文章や画像に類似していないか、可能な限り確認してください [1] [3]。

不正行為・剽窃と判断されるリスク：レポート、論文、課題、テスト等の提出物において、教員からの特別の許可・指示なく、生成 AI の出力をあたかも自分で作成したかのように提出することは、学修の妨げとなるだけでなく、剽窃や不正行為と判断されます。これには、著作権侵害と同様に、意図せずして起こったものも含まれます。生成 AI の出力は、あくまで自分で考え、記述する際の「最初のアイデア」や「参考」として扱い [1]、最終的な成果物については必ず自分で確認・修正・完成させてください [1] [2] [3]。

生成 AI の利用を開示・明記：学修活動において生成 AI を利用した場合は、レポートや論文などの提出物において、生成 AI を利用した旨を明記してください。明記にあたっては、利用した生成 AI ツールの名称、利用用途、入力したプロンプトの内容（概要）、出力（関連部分）、利用した日付などを記載することが考えられます [1]。具体的な記載方法は、担当教員の指示に従ってください。また授業における生成 AI の利用については担当教員の指示に従ってください。

5. おわりに

生成 AI は、正しく使えば学びを深める強力なツールです。しかし、使い方を誤ると、学修の本質から逸脱することにもなりかねません。生成 AI を主体的に利用し、皆さん

の学習をより豊かで実りあるものにしてください。

引用文献

- [1] 文部科学省初等中等教育局 (2024). 「初等中等教育段階における生成 AI の利活用に関するガイドライン」

https://www.mext.go.jp/content/20241226-mxt_shuukyo02-000030823_001.pdf

- [2] European Commission (2025). *Living guidelines on the responsible of generative AI in research.*

[https://research-and-innovation.ec.europa.eu/document/download/](https://research-and-innovation.ec.europa.eu/document/download/2b6cf7e5-36ac-41cb-aab5-0d32050143dc_en?filename=ec_rtd_ai-guidelines.pdf)

[2b6cf7e5-36ac-41cb-aab5-0d32050143dc_en?filename=ec_rtd_ai-guidelines.pdf](https://research-and-innovation.ec.europa.eu/document/download/2b6cf7e5-36ac-41cb-aab5-0d32050143dc_en?filename=ec_rtd_ai-guidelines.pdf)

- [3] Fujitsu (2024). 「生成 AI 利活用ガイドライン」

[https://global.fujitsu/-/media/Project/Fujitsu/Fujitsu-HQ/technology/key-technologies/news/ta-](https://global.fujitsu/-/media/Project/Fujitsu/Fujitsu-HQ/technology/key-technologies/news/ta-generative-ai-utilizationguideline-20240112/fujitsu-generative-ai-utilizationguideline-jp.pdf)

[generative-ai-utilizationguideline-20240112/fujitsu-generative-ai-utilizationguideline-jp.pdf](https://global.fujitsu/-/media/Project/Fujitsu/Fujitsu-HQ/technology/key-technologies/news/ta-generative-ai-utilizationguideline-20240112/fujitsu-generative-ai-utilizationguideline-jp.pdf)

この文書の問い合わせ先：総務課